

日本語の個性 (一)

読せぬてあふんて？

外山 誠 氏 夜

日本科学者の書く論文に、¹である¹
て終るセンチニスがよく出てくる。これは英
語に逐語訳をきかない――

かつて、京都大学で日ある物理学者の論文
を英訳していたし、A、L、ゲットというイギ
リス人の、日本物理学会の学会誌に、²教せぬ
てある²というエッセイを載せた。

物理学者がいつくりした由かりひはなく、
伝文聞いたばかりの分野の研究者たちも、怖れ
をうして³てある³う³を自棄するようになった³

改善のた

15

あつ

20

つた。それを進歩があることを長年向きも
人表のつたのは、日本強の教養が定着して
たことも理由。

日本人が外国人の云ふことに疑いのない
事に於つたことではないが、おかしなことを
云ふれは縮する。どうかと思われる。
それは葉たさうう人がほとんどもうたのは
期待のたである。

いんぐの必済が出来るで云つても外国人が
こと仕のニユアンスがわかろうて

責められる。わか、~~其~~その尻馬に乗って得意かるといふの片いたるげさ、~~母國語に誇りをもたずい人前は文化的~~おとば見えん、~~有り目。~~

「ひまろう」~~其れは~~違ひは、根拠の

あつきりしな、~~其れは~~自信のもてない

ことをのこら推量、~~判断~~に用いられるのみか、

般であるけれども、それおけにはとひまろうさ

い。

「AはBひまろう」ときめつやろ、いかに

3

10

5
10
15
20

も高飛車で感^カ張^ハっている。解^トき^ケた感^カいになるこ
とがある。それを和^ニら^ゲる^クか^クてひあう^ウう^ウ
ひま^マさ^サに^ニは^ハてひあ^アう^ウと^ト変^ヘわ^ワるところが
る^ルい。わ^ワら^ラり^リてひあ^アう^ウし^シば^バてひあ^アう^ウの^ノぞ
う^ウに^ニま^マの^ノこ^コと^トい^イう^ウこ^コと^ト

さ^サう^ウい^イう^ウてひあ^アう^ウの^ノ用^{ヨウ}地^チに^ニつ^ツいて^テは^ハ固^コ
^ニ論^{ロン}の^ノ辞^ジ書^{ショ}も^モ注^{チュウ}意^イして^テい^イな^ナい^イが、^テひあ^アう^ウ
ば^バてひあ^アう^ウと^ト解^トす^スん^ンさ^サき^キが^ガす^スく^クな^ナ
る^ルい。誤^{コト}せ^セあ^アり^リは^ハる^ル。

てひあ^アう^ウる^ルは^ハ論^{ロン}理^リ的^{テク}的^{テク}用^{ヨウ}地^チに^ニつ^ツいて^テは^ハ固^コ
てひあ^アう^ウる^ルは

心理的 ^{たの} ~~たの~~ ^{たの} だが、意味の上では交換可能であ
 るという認識をかつては自覚研究者も共有し
 ていたのひする。心理に弱く外国人が戸送る
 のは多少同情して ~~も~~ ^も しいおもしろい、
 断定 ~~を~~ ^を は伝わる気持は、~~有~~ ^有 ~~り~~ ^り ~~も~~ ^も 日本人に限
 らない。 ~~有~~ ^有 ~~り~~ ^り ~~も~~ ^も モンターニ ~~も~~ ^も とウセロの中
~~に~~ ^に ~~あ~~ ^あ ~~る~~ ^る ~~も~~ ^も ~~の~~ ^の ~~中~~ ^中 ~~に~~ ^に

丁 私は本當らしい事柄でも、人から絶対に
 正しいものとして押しつけられると、それが
 いやになる。…… 性急な陳述をかかわらば中ね

するよるな言葉、すなめち、おそうく、幾

有、おそうた、のよるな言葉おぼきたし

モンテ、ニエなら、てびあうう、を訳すの

に著者することはなかつた、是れは、

日本文で、てびあうう、が好まれるわやがも

うひと、びる、
言は

日本文で、てびあうう、の、てびあうう、が動詞で

終るために、てびあうう、でも、てびあうう、が動詞に

りやまい、う、てびあうう、も、てびあうう、

てびあうう、の、てびあうう、の、てびあうう、の、

である。同じことばかり繰り返されてはおもしろくないのでこの国のことばかりも同じ。英塔のも、said (言った) を反覆しなうたため人知れぬ苦心をしてくる。

論文ならびである。5までつた中々あるわゆることにあるけれども、写集はそれと違わぬところがある。それは、~~その~~ ~~の~~ ~~見~~ ~~点~~ ~~が~~ ~~大~~ ~~に~~ ~~入~~ ~~り~~ ~~て~~ ~~い~~ ~~る~~、~~と~~ ~~い~~ ~~う~~ ~~こ~~ ~~と~~ ~~は~~ ~~大~~ ~~に~~ ~~違~~ ~~わ~~ ~~り~~ ~~な~~ ~~る~~、とである。このが、アイコニコになる。

日本人の考へ英語に「~~さう~~」が多い、日本
 人はみな哲學的なのだ、と皮肉つた外國人が
 いる。これも、日本人の心理を知つるの言
 だ。といつて可からう。この「~~さう~~」考へは、
 「~~さう~~」といつて可からう。本當
 に思つてもあることさういふとわかるの
 が日本式といふわけだ、斷定をせよといふた
 りの修辭~~は~~しかさきさきさう。
 「~~さう~~」といふことを英語に訳せない、といふの
 氣の山さういふ新訳者~~は~~いふる。原~~文~~に~~さう~~

5

10

15

20

ひなげれなまらうい、というのをあまりたも
窮意に、律儀に実践しようとしたのがい甲反
い。てひまらうとひあっても、訳ひは「ひあ
原文が」とする。それ人ういの解釈本加え
百いなるては、翻訳は存在し得ないときとして
られ

得

本本加え

9